

【 古殿町 】

校務 DX 計画

当町は、1人1台端末の導入後、校務支援システムや授業支援アプリ等を活用して学びのデジタル化を進め、ペーパーレス化を目指した校務DXに取り組んでいる。

代表的な下記の取り組みのほか、文部科学省が定める「GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリスト」や福島県教育委員会が定める「教職員働き方改革アクションプラン」等を踏まえ、継続して校務DX化に向けた取り組みを進める。

1. 校務支援システムの導入とセキュリティ強化

- ・令和3年度から小学校、中学校において校務支援システムを導入しており、生徒の基本情報、出欠簿、年間指導計画等の電子化により、教育の情報化と教職員の業務効率化が図られている。
- ・国の教育情報セキュリティポリシーの作成によりセキュリティ対策がなされているが、必要に応じて見直しを行う。
- ・令和7年度の校務端末の入れ替えを行うことでパソコンの機能を上げ、事務作業の効率化を図る。高性能なウィルス対策のほか情報漏洩した際に追及できるログ収集の機能を付加することで、セキュリティ強化がなされる。

2. ICT支援員の配置

- ・小学校、中学校にICT支援員を週2回程度配置し、校務の補助を行っている。タブレットを利用したICT授業を円滑に行うために、指導の補助・機器の操作・ネットワーク環境の整備等を行っており、児童生徒の授業支援や教職員の負担軽減につながっている。

3. ペーパーレス化の取組み

- ・教職員働き方アクションプランに基づき、電子メール、FCS(ふくしまクラウドサービス)(※)や既存の学習ソフト機能等のクラウドツールを活用したデータ共有を行い、クラウド利用のメリット享受と紙媒体や発出文書の削減を目指す。

(※)FCS=福島県が県全体でドメイン運用する Google Workspace(汎用クラウドプラットフォーム)

4. 次世代校務支援システムの検討

- ・本町では、プライベートクラウド上で運用する校務支援システムを利用しているが、今後文部科学省が示す「パブリッククラウド上で運用できる次世代校務支援システム」の導入を検討するための情報収集を進める。